

N E C

Express5800シリーズ

ESMPRO[®]/AC Advance

Ver3.3

UL1046-006

セットアップカード

ごあいさつ

このたびは ESMPRO/AC Advance Ver3.3をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。

本書は、お買い上げ頂きましたセットの内容確認、セットアップの内容、注意事項を中心に構成されています。ESMPRO/AC Advance Ver3.3をお使いになる前に、必ずお読みください。

Windows[®] Server 2003、Windows[®] 2000、Windows NT[®]、Microsoft[®] は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
ESMPRO[®] は日本電気株式会社の登録商標です。

目次

第1章	製品内容	4
第2章	セットアップの準備	5
2. 1	ESMPRO/AC Advance のセットアップ環境.....	5
2. 2	ESMPRO/AC Advance の構成例.....	7
第3章	セットアップの方法	8
3. 1	ESMPRO/AC Advance (サーバモジュール) のインストール.....	8
3. 2	ESMPRO/AC Advance (クライアントモジュール) のインストール.....	12
3. 3	ESMPRO/AC Advance のアンインストール.....	15
第4章	AMC機能	17
4. 1	AMC機能を使用するためのセットアップ	17
4. 2	マルチサーバ構成の運用例	22
第5章	障害発生時には	25
5. 1	マルチサーバ構成でのログ採取方法	26
第6章	注意事項	30
6. 1	セットアップ関連.....	30
6. 2	運用時における注意	30

第1章 製品内容

ESMPRO/AC Advance Ver3.3のパッケージの内容は、次の通りです。
まず、添付品が全部そろっているかどうか、確認してください。

- | | |
|---------------|------|
| ・KeyFD | 1枚 |
| ・ソフトウェアのご使用条件 | 1部 |
| ・お客様登録カード | 1部 |
| ・セットアップカード | (本書) |

第2章 セットアップの準備

ESMPRO/AC Advance はESMPRO/AutomaticRunningController のオプション製品です。ESMPRO/AC Advance をご使用になるためには、ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.3 も併せてセットアップが必要です。

2.1 ESMPRO/AC Advance のセットアップ環境

ESMPRO/AC Advanceをセットアップするためには、次の環境が必要です。

① ハードウェア

<サーバ>

- ・対象機種 : Express5800シリーズ
- ・メモリ : 2.5MB以上
ESMPRO/AutomaticRunningController
と合計すると 5.0MB以上
- ・固定ディスクの空き容量 : 3.0MB以上
ESMPRO/AutomaticRunningController
と合計すると 9.0MB以上
- ・HW/BIOS機能 (*) : 制御端末のリモート起動、リモートシャットダウンを利用する場合は、
WOL (WakeOnLAN)機能を実装しているサーバ
OSのシャットダウンで、電源OFFが可能なサーバ

(*)

サーバ本体HWが提供する機能を利用する為、機種によっては機能が提供されていない場合があります。

例えば、BIOS設定項目でWakeOnLAN機能を有効にしたサーバであっても、Windows2000等ACPIサポートOSでのシャットダウン状態からの「WakeOnLANによるサーバ起動機能」は「HW的に無効な仕様」の機種があります。

Express5800/110Ef、120Ee、120Rd-2等がこれに該当します。

これらの環境は、リモート起動を含め、自動運転の起動機能は実現できません。

また、スタートメニューなどからのシャットダウンの起動にてサーバの電源がOFFされないサーバでは、自動運転の停止機能の場合にも同様に電源がOFFできません。

この場合には、その後の自動起動も出来ません。

これらの機能制限は、サーバ本体のHW仕様等に依存する為、導入の際は、予め使用するサーバ本体HWおよびOSを確認してください。

(同一装置であってもBIOSのバージョンに依存する場合があります。)

<クライアント>

- ・対象機種 : PC98-Nシリーズ、PC-AT互換機
- ・メモリ : 2.5MB以上
- ・固定ディスクの空き容量 : 3.0MB以上

② ソフトウェア

<サーバ>

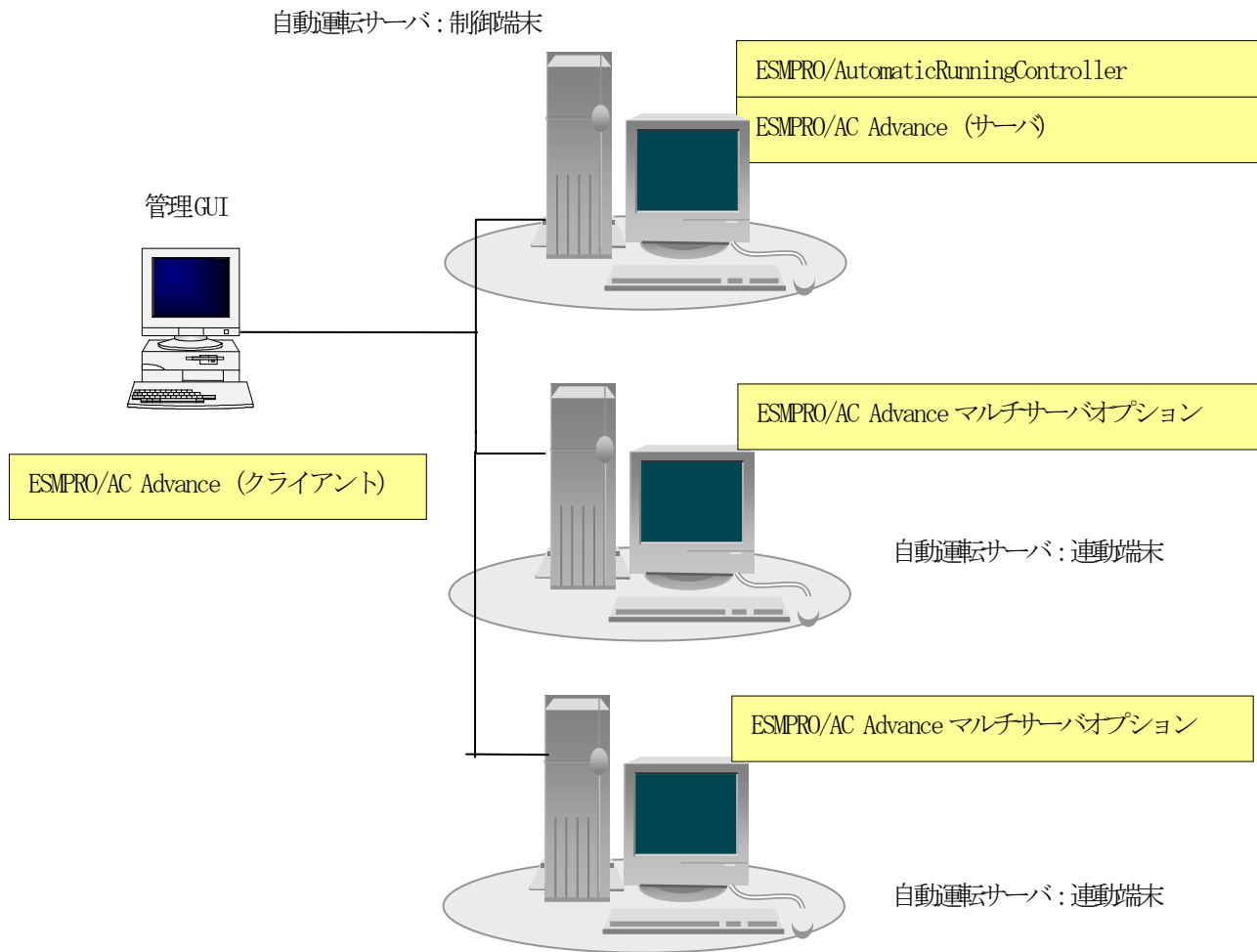
- ・Microsoft® Windows NT® 4.0 Server/Workstation
- ・Windows® 2000 Advanced Server/Server/Professional
- ・Windows® XP Professional
- ・Windows Server 2003 (ESS RL2003/06より対応)
- ・Windows Server 2003 R2 (ESS RL2003/06より対応)
- ・ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.3

<クライアント>

- ・Microsoft® Windows NT® 4.0 Server/Workstation
- ・Windows® 2000 Advanced Server/Server/Professional
- ・Windows® 98/Millennium Edition (Microsoft Internet Explorer Ver5.5以上)
- ・Windows® XP Professional/Home Edition
- ・Windows Server 2003 (ESS RL2003/06より対応)
- ・Windows Server 2003 R2 (ESS RL2003/06より対応)

* AMC (AC Management Console) 機能によりマルチサーバ構成で制御される連動端末 (非制御端末) には、ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションがセットアップされている必要があります。

2. 2 ESMPRO/AC Advance の構成例



第3章 セットアップの方法

3. 1 ESMPRO/AC Advance (サーバモジュール) のインストール

- (1) 『Express Server Startup CD-ROM Express5800/100 シリーズ用 #1』のCD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。#1 と書かれた CD-ROM が複数あるときは、CD-ROM に格納されている PPLIST.TXT を参照して、本製品が収録されている CD-ROM を特定してください。
(RL2002/12版では、本製品は「Express Server Startup CD-ROM Express5800/100シリーズ用 #1 (1/3)」に収録されています。)

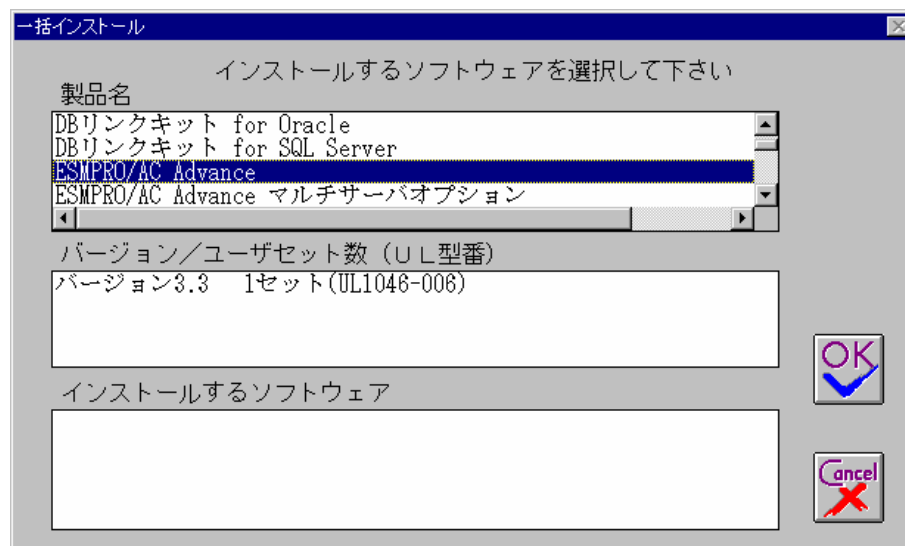
- (2) Express Server Startupを起動します。
(起動手順については次のセットアップカードを参照してください)
・Express5800シリーズ Express Server Startup (Windows[®] 2000版)

- (3) 「ESMPRO/AC Advance」セットアップまでの手順

- ① 一括インストールの場合：

★ ESMPRO/AC Advance Ver3.3は、ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.3がインストールされたサーバ上でのみ動作します。ESMPRO/AC Advance Ver3.3を一括でインストールする場合は、ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.3 をインストールするソフトウェアに追加してください。

[Express Server Startup] から、【インストール】 - 【一括インストール】を選択すると次のダイアログボックスが表示されます。



- 「製品名」一覧から、「ESMPRO/AC Advance」をダブルクリックします。
- a) で選択した「製品名」のバージョン/ユーザセット数が表示されます。「バージョン3.3 1セット (UL1046-006)」をダブルクリックしてください。
- b) の選択が終わりますと、「インストールするソフトウェア」に「ESMPRO/AC Advanceバージョン3.3 1セット (UL1046-006)」が表示されます。

d) ソフトウェアの選択が完了したら、「OK」ボタンを選んでください。

e) インストール先ドライブ名 (ESMPRO/AutomaticRunningController製品群をインストールするドライブ名) KeyFDをセットするドライブ名、氏名/会社名の入力をして 頂きます。

(詳細については次のセットアップカードを参照してください)

・Express5800シリーズ Express Server Startup(Windows[®] 2000版)

すべての設定が完了すると、「インストールするソフトウェア」のKeyFDをFDドライブへセットを促すメッセージが順次表示されますので、該当するソフトウェアのKeyFDをFDドライブにセットして「OK」ボタンを選んでください。

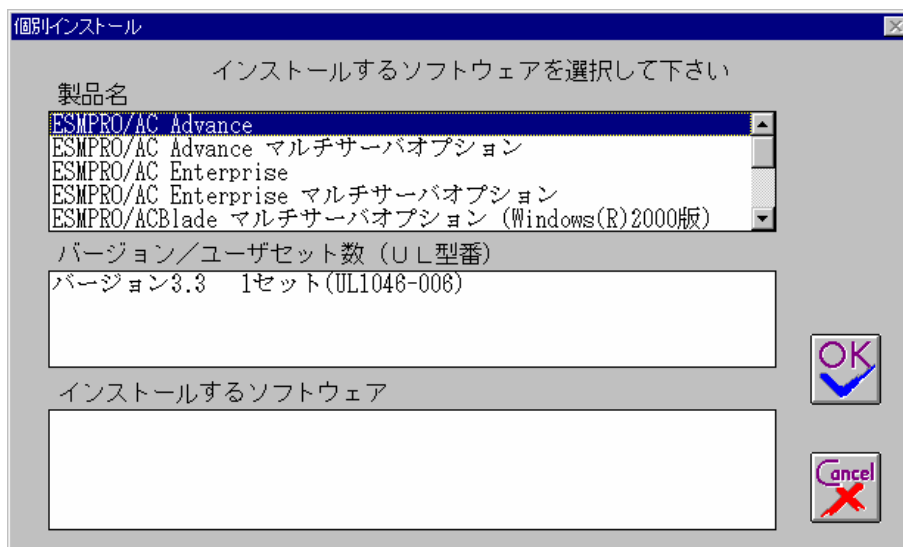
インストールを開始します。

→ (4) へ進みます。

② 個別インストールの場合：

★ ESMPRO/AC Advance Ver3.3は、ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.3がインストールされたサーバ上でのみ動作します。ESMPRO/AC Advance Ver3.3を個別でインストールする場合は、ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.3 をあらかじめインストールしておいてください。

[Express Server Startup] から、【インストール】－【個別インストール】を選択すると、KeyFDをセットしたドライブ名の入力要求がありますので、KeyFDをセットしたドライブ名を入力し、「OK」ボタンを選んでください。次のダイアログボックスが表示されます。



a) 「製品名」一覧から、「ESMPRO/AC Advance」をダブルクリックします。

b) a) で選択した「製品名」のバージョン/ユーザセット数が表示されます。「バージョン3.3 1セット (UL1046-006)」をダブルクリックします。

c) b) の選択が終わりますと、「インストールするソフトウェア」に「ESMPRO/AC Advanceバージョン3.3 1セット (UL1046-006)」が表示されます。

d) ソフトウェアの選択が完了したら、「OK」ボタンを選んでください。

e) 氏名/会社名の入力の画面が表示されますので、入力して「OK」ボタンを選んでください。

(詳細については次のセットアップカードを参照してください)

・Express5800シリーズ Express Server Startup(Windows[®] 2000版)

f) ESMPRO/AC Advanceのセットアップダイアログボックスが表示されるので、「続行」ボタンを選びます。

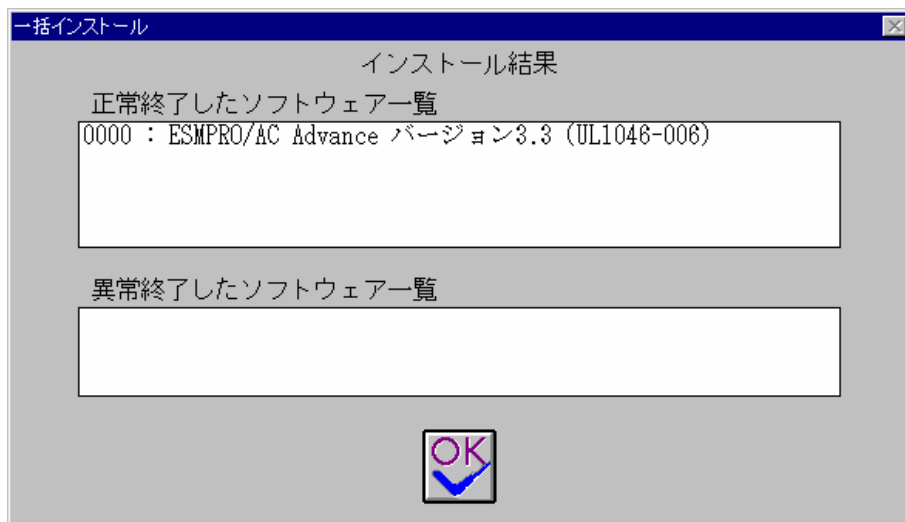
「セットアップは完了しました。」とメッセージが表示されると、セットアップは終了です。「OK」ボタンを押してください。

(4) 「ESMPRO/AC Advance」セットアップの終了状態表示

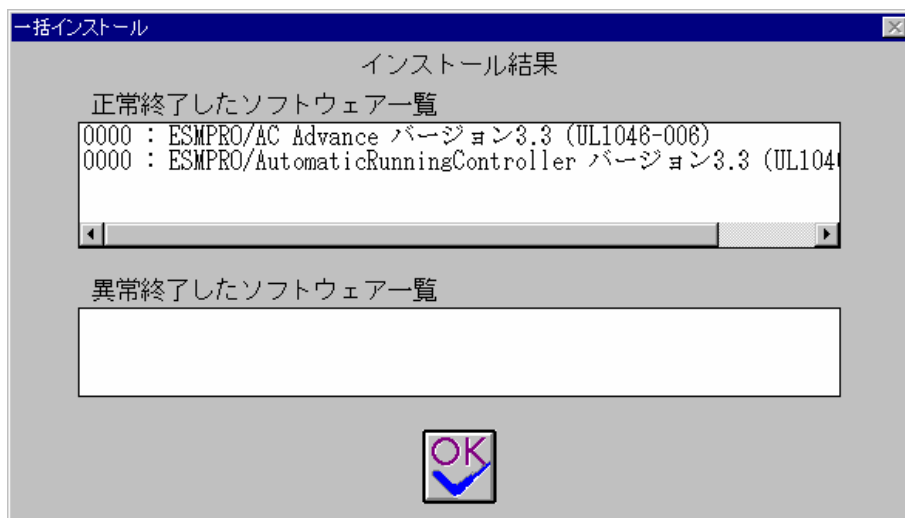
セットアップが終了すると次のダイアログボックスが表示されます。

- ① ESMPRO/AC Advance Ver3.3だけを一括インストール
または個別インストールした場合：

個別インストールを行った場合は、ウィンドウタイトルが「個別インストール」になります。



- ② ESMPRO/AutomaticRunningController Ver3.3、ESMPRO/AC Advance Ver3.3を一括インストールした場合：



注意

セットアップの実行中に<終了>及び<キャンセル>ボタンを選ぶと、セットアップを中止するかどうかをたずねるメッセージが表示されます。そのメッセージボックスで、<OK>ボタンを選ぶと、セットアップを中止できます。その場合、途中までセットアップされたファイルの削除は行われません。

- (5) [Express Server Startup] を終了させ、システムを再起動します。

3. 2 ESMPRO/AC Advance (クライアントモジュール) のインストール

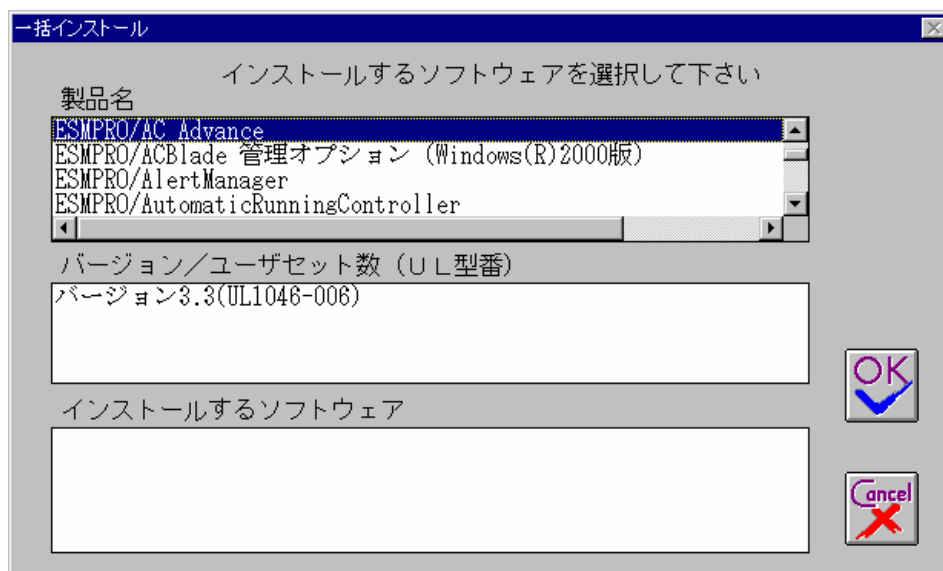
- (1) 『Express Server Startup CD-ROM Express5800/100 シリーズ用 #2』のCD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。#2 と書かれた CD-ROM が複数あるときは、CD-ROMに格納されている PPLIST.TXT を参照して本製品が収録されている CD-ROMを特定してください。
(RL2002/12版では、本製品は「Express Server Startup CD-ROM Express5800/100シリーズ用 #2 (2/3)」に収録されています。)

- (2) Express Server Startupを起動します。
(起動手順については次のセットアップカードを参照してください)
・Express5800シリーズ Express Server Startup (Windows® 2000版)

- (3) 「ESMPRO/AC Advance」セットアップまでの手順

① 一括インストールの場合：

「Express Server Startup」から、【インストール】－【一括インストール】を選択すると次のダイアログボックスが表示されます。



- 「製品名」一覧から、「ESMPRO/AC Advance」をダブルクリックします。
- a) で選択した「製品名」のバージョン/ユーザセット数が表示されます。「バージョン3.3 1セット (UL1046-006)」をダブルクリックしてください。
- b) の選択が終わりますと、「インストールするソフトウェア」に「ESMPRO/AC Advanceバージョン3.3 1セット (UL1046-006)」が表示されます。
- ソフトウェアの選択が完了したら、「OK」ボタンを選んでください。
- インストール先ドライブ名、KeyFDをセットするドライブ名、氏名/会社名の入力をして 頂きます。
(詳細については次のセットアップカードを参照してください)
・Express5800シリーズ Express Server Startup (Windows® 2000版)

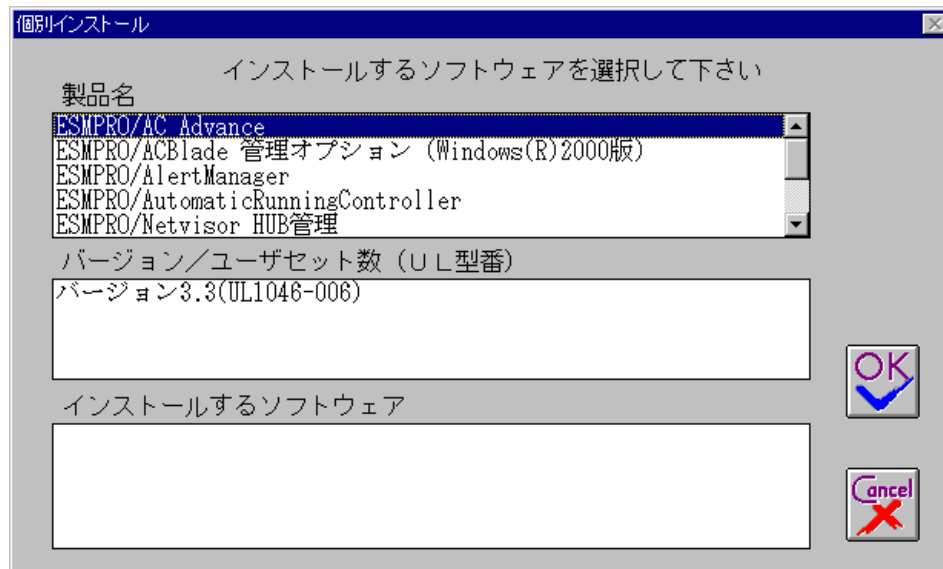
すべての設定が完了すると、「インストールするソフトウェア」のKeyFDをFDドライブへセットを促すメッセージが順次表示されますので、該当するソフトウェアのKeyFDをFDドライブにセットして「OK」ボタンを選んでください。

セットアップを開始します。

→ (4) へ進みます。

② 個別インストールの場合：

[Express Server Startup] から、【インストール】－【個別インストール】を選択すると、KeyFDをセットしたドライブ名の入力要求がありますので、KeyFDをセットしたドライブ名を入力し、「OK」ボタンを選んでください。次のダイアログボックスが表示されます。



- a) 「製品名」一覧から、「ESMPRO/AC Advance」をダブルクリックします。
- b) a) で選択した「製品名」のバージョン/ユーザセット数が表示されます。「バージョン3.3 1セット (UL1046-006)」をダブルクリックします。
- c) b) の選択が終わりますと、「インストールするソフトウェア」に「ESMPRO/AC Advanceバージョン3.3 1セット (UL1046-006)」が表示されます。
- d) ソフトウェアの選択が完了したら、「OK」ボタンを選んでください。
- e) 氏名/会社名の入力の画面が表示されますので、入力して「OK」ボタンを選んでください。
(詳細については次のセットアップカードを参照してください)
・Express5800シリーズ Express Server Startup(Windows® 2000版)
- f) ESMPRO/AC Advanceのセットアップダイアログボックスが表示されるので、「続行」ボタンを押します。
- g) ファイルをコピーするディレクトリの指定を行います。ディレクトリを指定して「続行」を押します。
- h) ディレクトリの確認ダイアログボックスが表示されたら「続行」を押します。

インストールが開始されます。

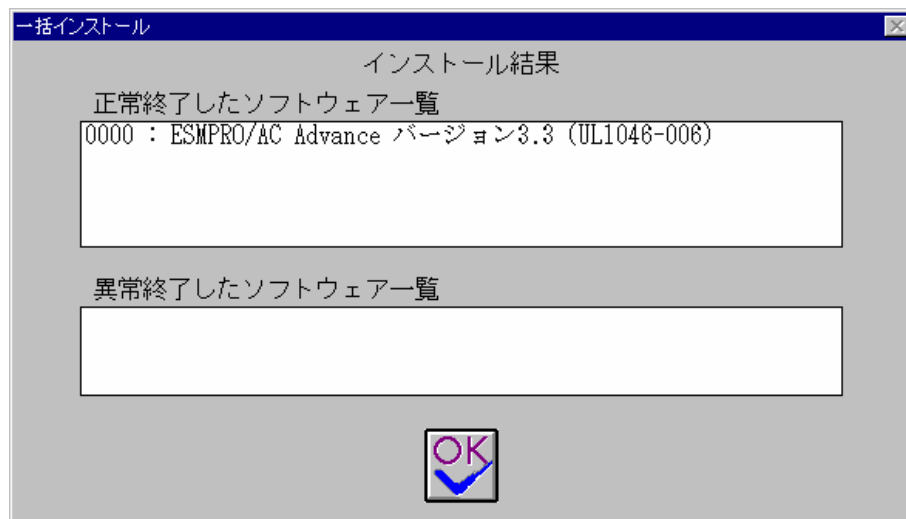
「セットアップは完了しました」とメッセージ表示されるとセットアップは終了です。

→ (4) へ進みます。

(4) 「ESMPRO/AC Advance」セットアップの終了状態表示

セットアップが終了すると次のダイアログボックスが表示されます。

個別インストールを行った場合は、ウィンドウタイトルが「個別インストール」になります。



注意

セットアップの実行中に<終了>及び<キャンセル>ボタンを選ぶと、セットアップを中止するかどうかをたずねるメッセージが表示されます。そのメッセージボックスで、<OK>ボタンを選ぶと、セットアップを中止できます。その場合、途中までセットアップされたファイルの削除は行われません。

(5) [Express Server Startup] を終了させ、システムを再起動します。

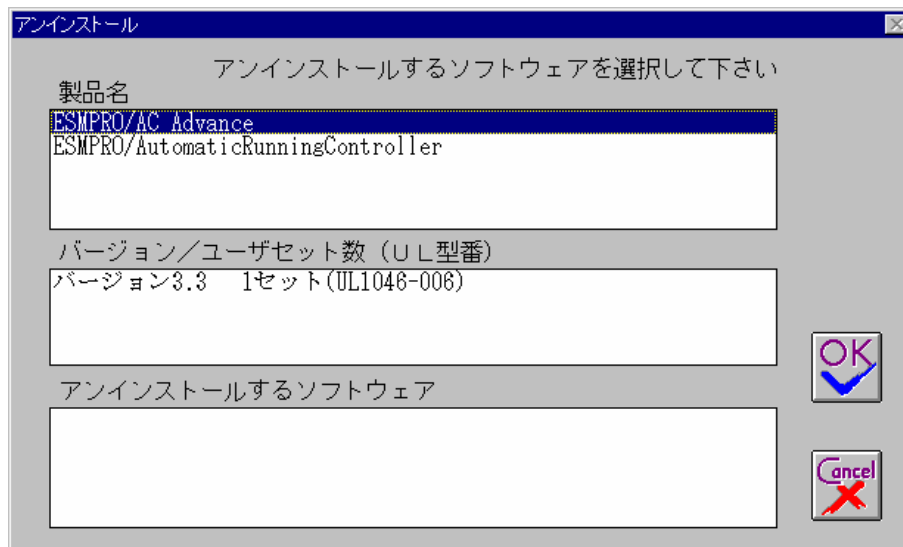
3.3 ESMPRO/AC Advance のアンインストール

ESMPRO/AC Advance の削除が必要な場合、以下の手順でアンインストールします。

- (1) ESMPRO/AC Advance(サーバモジュール) のアンインストールでは、『Express Server Startup CD-ROM Express5800/100 シリーズ用 #1』のCD-ROM をCD-ROM ドライブに挿入してください。
(RL2002/12版では、本製品は「Express Server Startup CD-ROM Express5800/100シリーズ用 #1(1/3)」に収録されています。)

ESMPRO/AC Advance(クライアントモジュール) のアンインストールの場合は、『Express Server Startup CD-ROM Express5800/100 シリーズ用 #2』のCD-ROM をCD-ROM ドライブに挿入してください。
(RL2002/12版では、本製品は「Express Server Startup CD-ROM Express5800/100シリーズ用 #2(2/3)」に収録されています。)

- (2) Express Server Startupを起動します。
(起動手順については次のセットアップカードを参照してください)
・Express5800シリーズ Express Server Startup (Windows[®] 2000版)
- (3) 「ESMPRO/AC Advance」アンインストールまでの手順
[Express Server Startup] から、【アンインストール】を選択すると次のダイアログボックスが表示されます。



- a) 「製品名」一覧から、「ESMPRO/AC Advance」をダブルクリックします。
- b) a) で選択した「製品名」のユーザセット数/バージョンが「バージョン/ユーザセット数」に表示されます。「バージョン3.3(UL1046-006)」をダブルクリックしてください。
- c) b) の選択が終わりますと、「アンインストールするソフトウェア」に「ESMPRO/AC Advance 1 セット (UL1046-006)」が表示されます。
- d) ソフトウェアの選択が完了したら、「OK」ボタンを選んでください。

以降、KeyFDをセットしたドライブ名の入力をして頂きます。

(詳細については次のセットアップカードを参照してください)

- ・Express5800シリーズ Express Server Startup (Windows[®] 2000版)

すべての設定が完了すると、「アンインストールするソフトウェア」のKeyFDをFDドライブへセットを促す

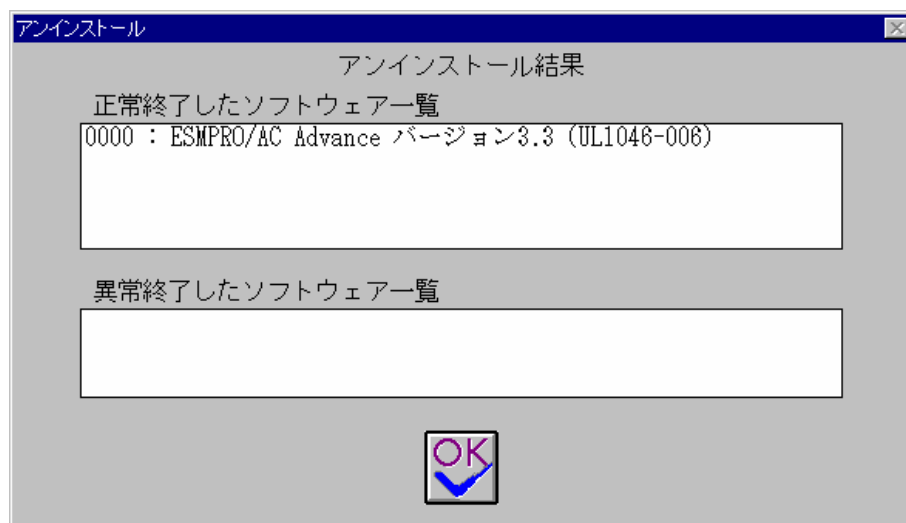
メッセージが表示されますので、該当するソフトウェアのKeyFDをFDドライブにセットして「OK」ボタンを選んでください。

アンインストールが開始されます。

(4) 「アンインストールは完了しました。」とメッセージが表示されますので「OK」を押します。

(5) 「ESMPRO/AC Advance」アンインストールの終了状態表示

アンインストールが正常終了すると次のダイアログボックスが表示されます。



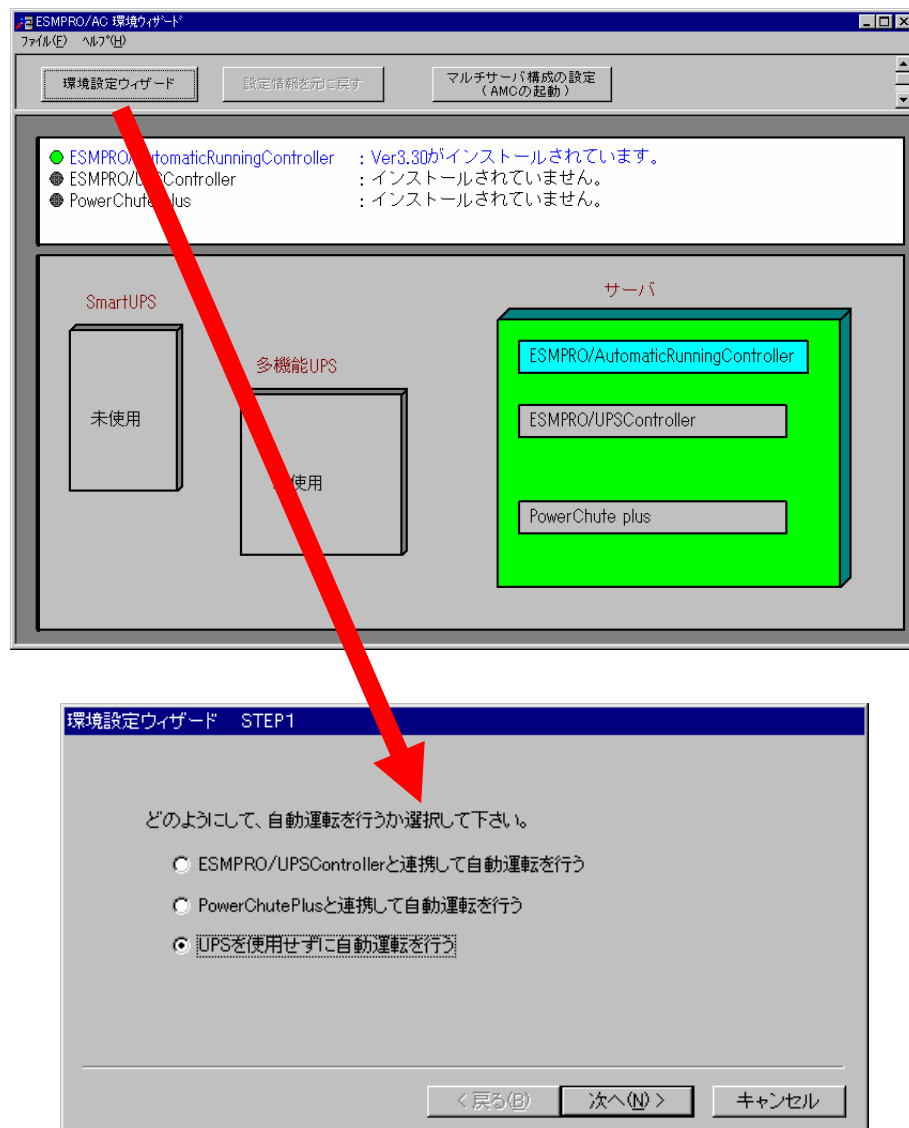
(6) Express Server Startup を終了してください。

第4章 AMC機能

ESMPRO/AC Advance では、ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションがインストールされたサーバの統合管理を実現させるため、AMC (AC Management Console)機能を搭載しています。

4.1 AMC機能を使用するためのセットアップ

[スタート]－[ESMPRO_AutomaticRunningController]から「ESMPRO_AC 環境設定ウィザード」を起動し、「環境設定ウィザード」を選択します。



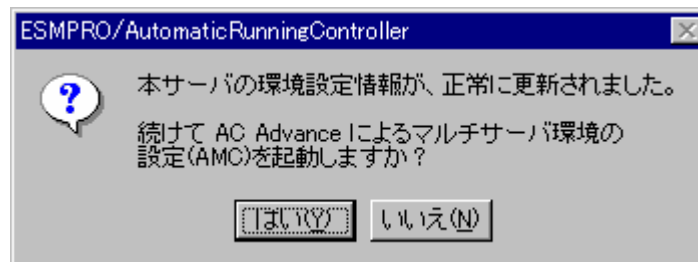
“UPS を使用せずに自動運転を行う”を選択し、「次へ(N)>」ボタンを押します。



「完了」ボタンを選択すると、以下のようなメッセージが表示されます。

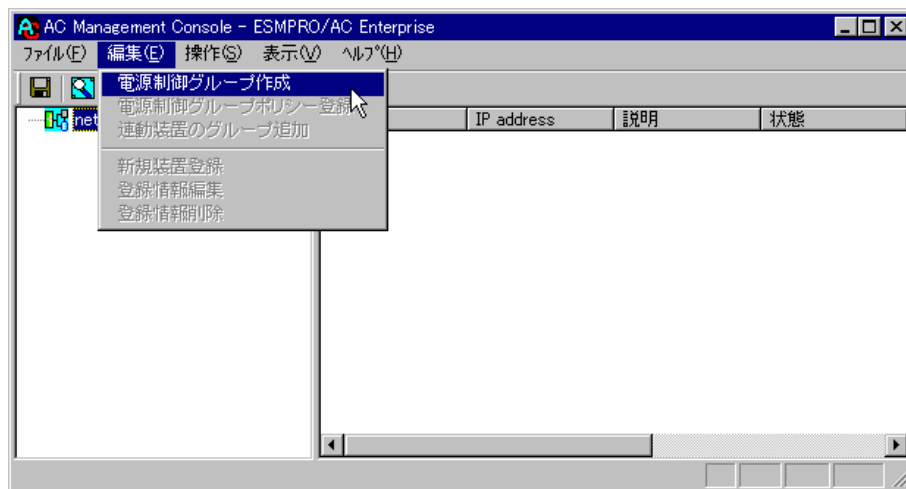


「はい(Y)」を選択すると、AMCの起動を確認するダイアログが表示されます。

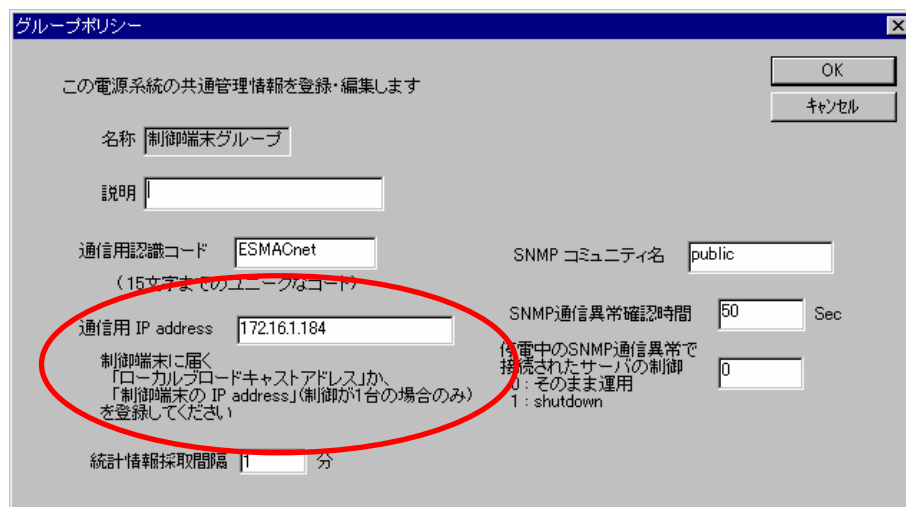


AMCを起動します。

「編集」メニューから「電源制御グループ作成」を選択し、グループ名を入力します。



作成したグループ配下のアイコンをクリックすると、グループポリシーの入力画面が表示されますので、制御端末が複数台のときは制御端末に届くローカルブロードキャストアドレスを、制御端末が1台のときはESMPRO/AC Advance をインストールした制御端末の IP address を入力します。



次に、ツリー上の「制御端末」にカーソルを当て、「編集」メニューから「新規装置登録」を選択します。



「制御端末（サーバ）」の入力画面が表示されますので、制御端末（サーバ）の情報を入力します。

制御端末をリモート起動する場合は、Advance option mode にチェックを入れ、リモート起動用 MAC address、リモート起動用 IP address、リモート起動用 ネットマスクを入力します。MAC address は、コマンドプロンプトから“ipconfig /all”と入力し、出力結果に表示されているPhysical Addressを入力します。

リモート起動用 MAC address にはWOL機能が有効なLANポートのMAC addressを入力します。

この操作を繰り返すことにより、複数の制御端末（サーバ）を登録することができます。

制御端末(サーバ)

ESMPRO/AC EnterpriseかAC Advance option をセットアップし、電源管理制御が行えるサーバの登録・編集を行います

OK

キャンセル

名称 (コンピュータ名: 15文字まで)

☒ コンピュータ名を大文字に自動変換する。(Linuxの場合は無効)

IP address (例: 172.16.1.10)

説明 ☐ Linux

☐ SNMP Trapを使用しない

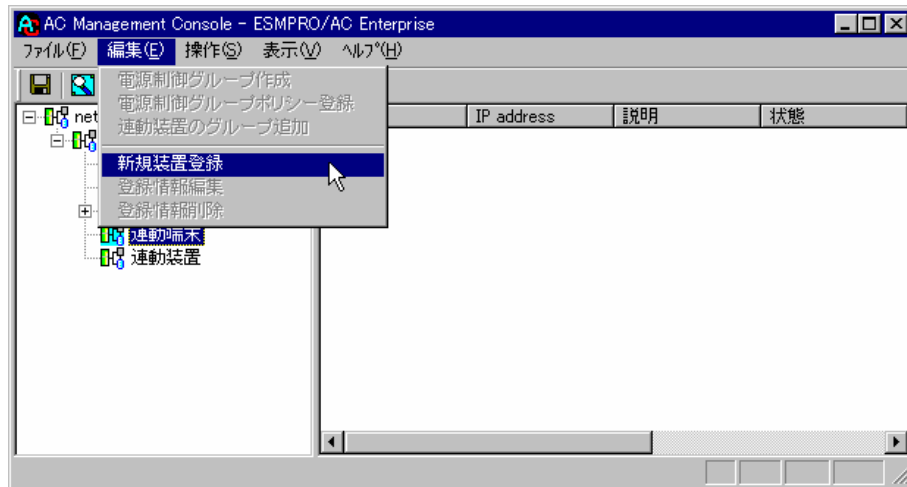
☒ Advance option mode

リモート起動用 MAC address

リモート起動用 IP address

リモート起動用 ネットマスク

次に、ツリー上の「**連動端末**」にカーソルを当て、「**編集**」メニューから「**新規装置登録**」を選択します。



「**連動端末 (サーバ)**」の入力画面が表示されますので、ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションがインストールされた**連動端末 (サーバ)** の情報を入力します。

Advance option mode にチェックを入れ、リモート起動用 MAC address、リモート起動用 IP address、リモート起動用 ネットマスクを入力します。**連動端末**の MAC address は、**連動端末**にてコマンドプロンプトから“ipconfig /all”と入力し、出力結果に表示されている Physical Address を入力します。

リモート起動用 MAC address には WOL 機能が有効な LAN ポートの MAC address を入力します。

この操作を繰り返すことにより、複数の**連動端末 (サーバ)** を登録することができます。

「ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション」か、
「ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプション」、
「ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション」を、
セットアップしたサーバを登録します。

名称 (コンピュータ名: 15文字まで)

☒ コンピュータ名を大文字に自動変換する。(Linuxの場合は無効)

IP address (例: 172.16.1.10)

説明 ☐ Linux

☒ Advance option mode

リモート起動用 MAC address

リモート起動用 IP address

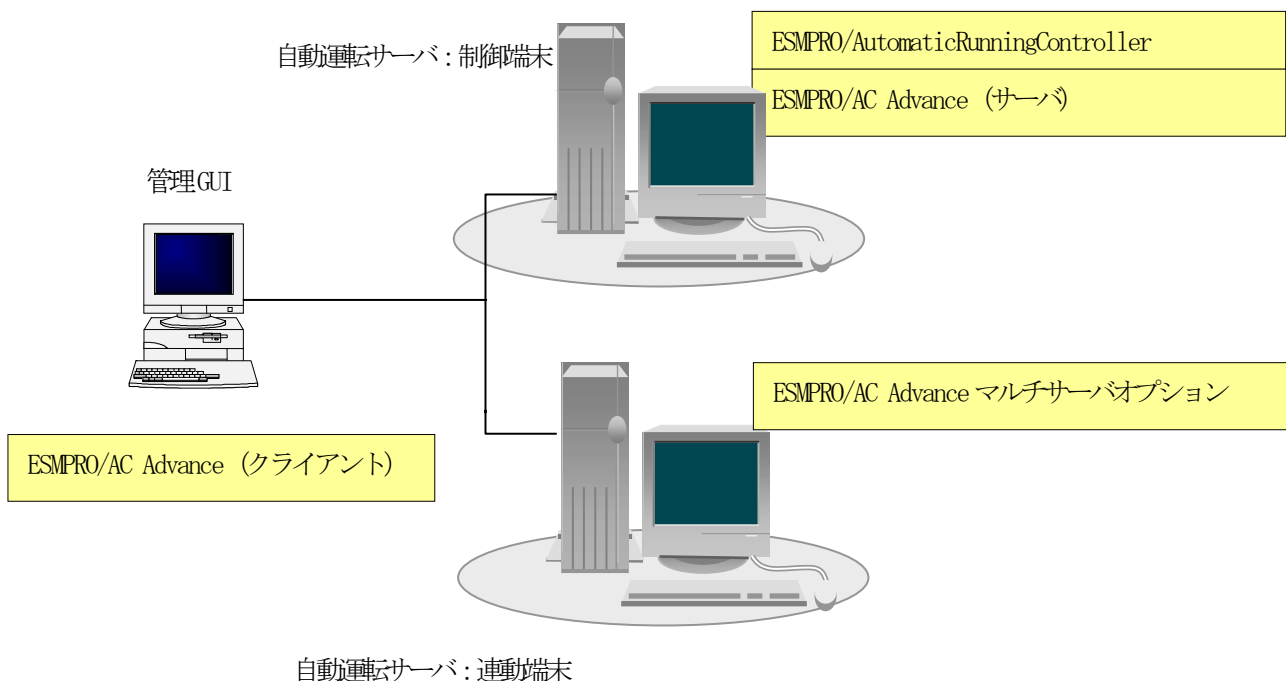
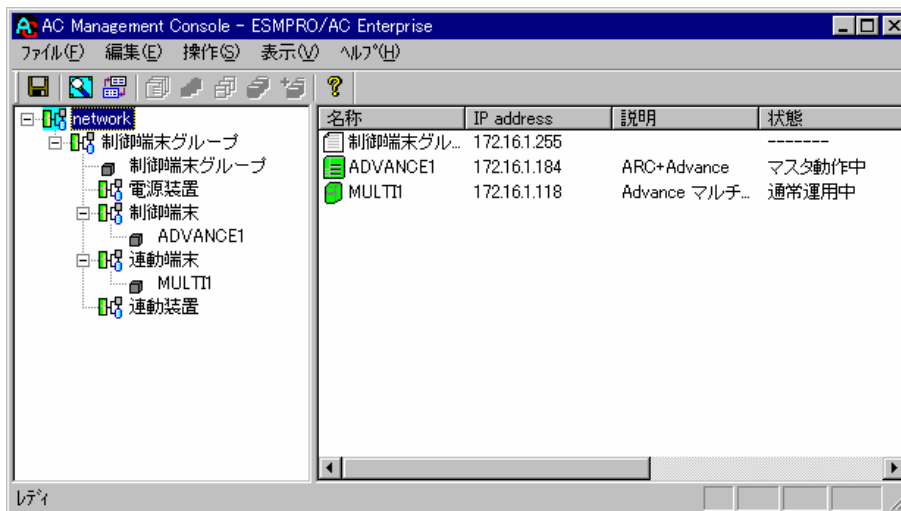
リモート起動用 ネットマスク

OK Cancel

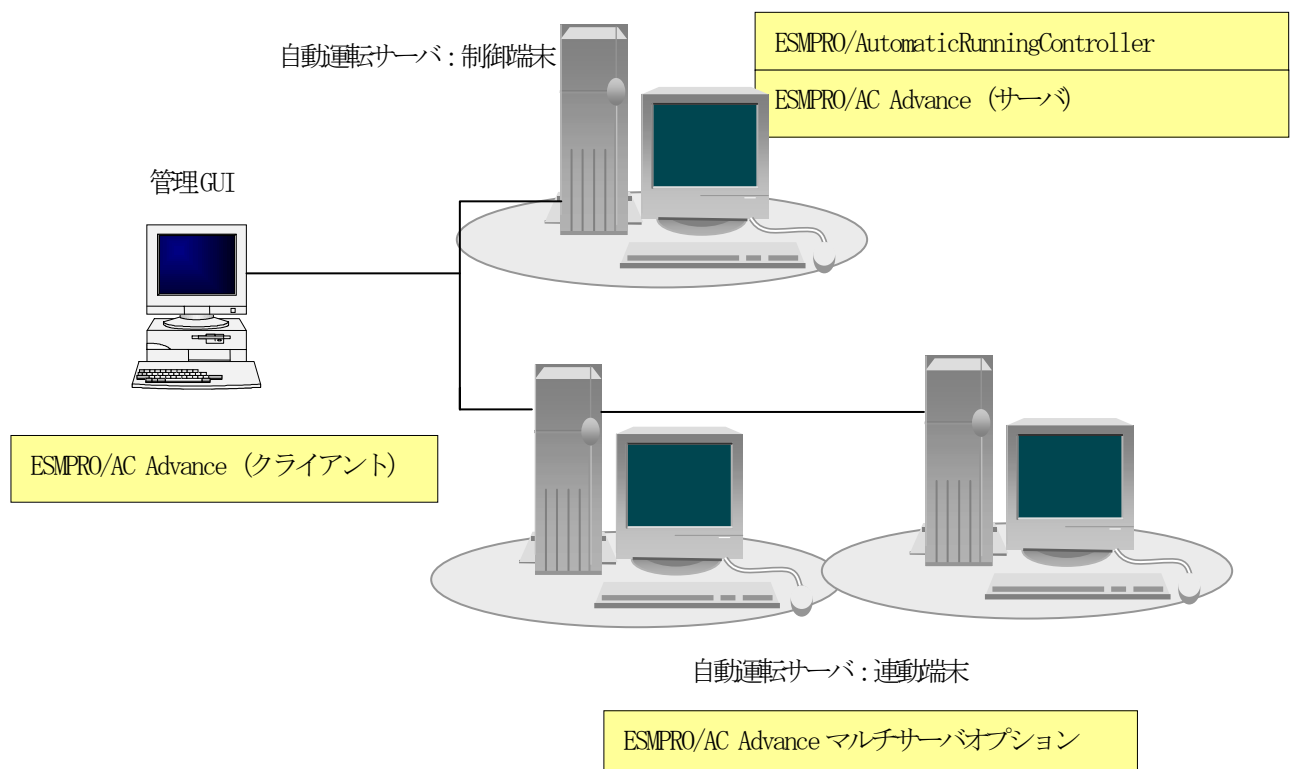
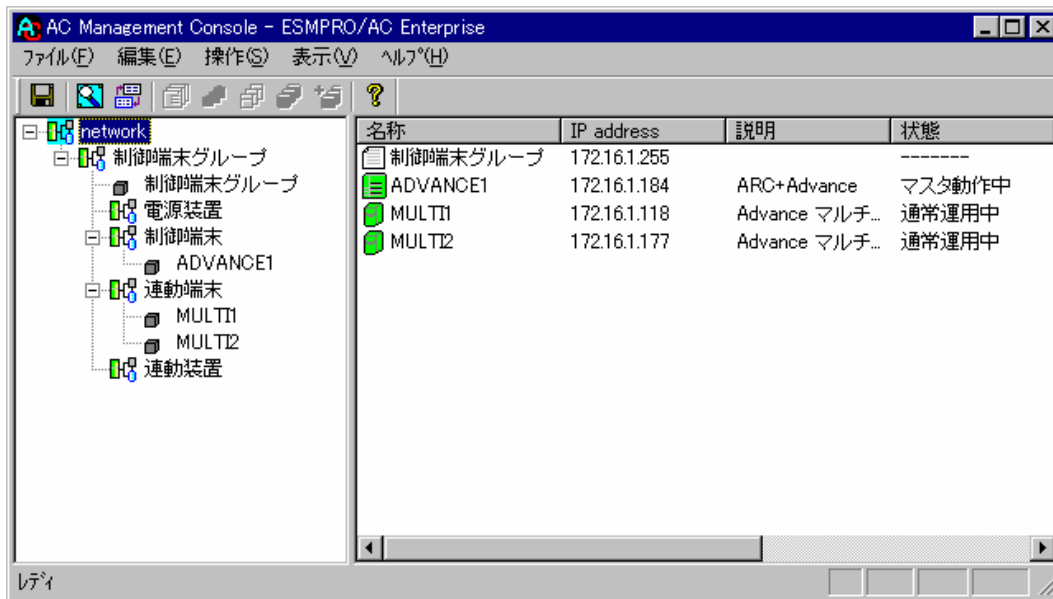
4.2 マルチサーバ構成の運用例

AMCでは、制御端末にESMPRO/AC Advance がインストールされたサーバ、連動端末にESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションがインストールされた端末を登録します。

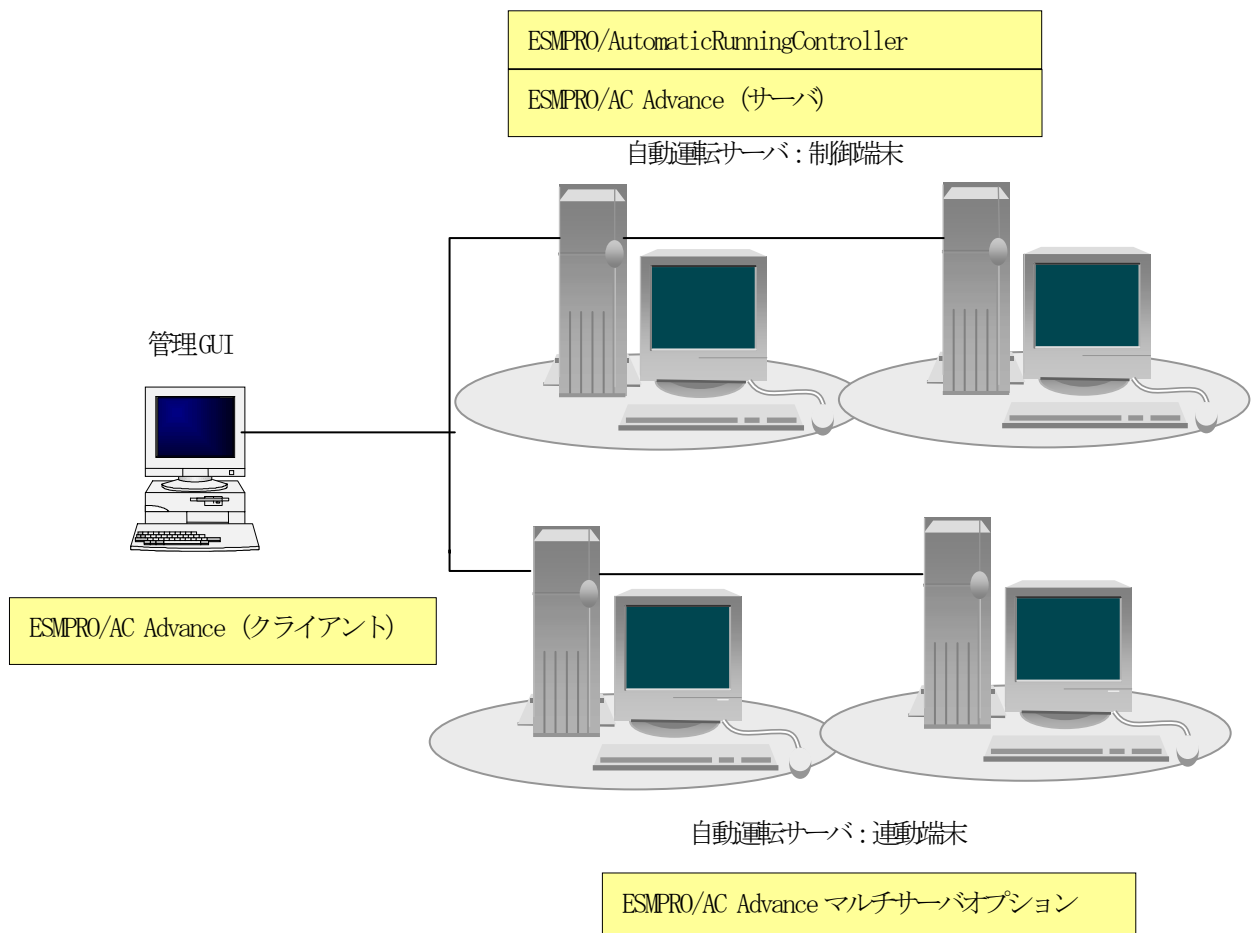
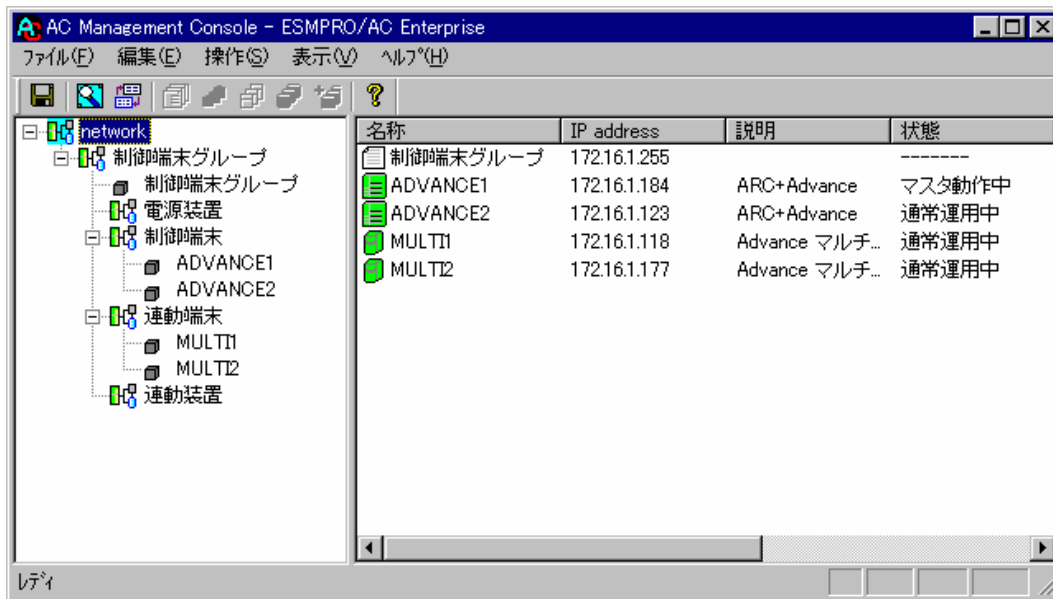
(1) 制御端末1台、連動端末1台の場合



(2) 制御端末1台、連動端末2台の場合



(3) 制御端末2台、連動端末2台の場合



第5章 障害発生時には

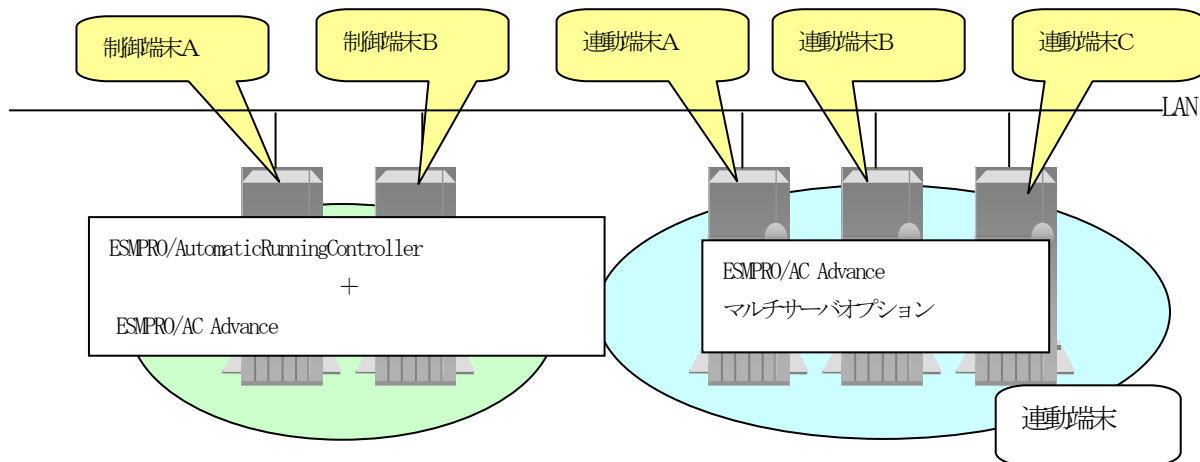
障害発生時には、お手数ですが、以下の情報を採取してください。

- ESMPRO/AutomaticRunningController ログ
- イベントログ
- バージョン情報

(以上の採取方法につきましては、「ESMPRO/AutomaticRunningController セットアップカード」をご参照ください。)

5.1 マルチサーバ構成でのログ採取方法

システムの構成が、マルチサーバ構成の場合、次のような方法でログを採取してください。



例えば、上図のようなマルチサーバ構成の場合、

(1) 制御端末

すべての制御端末（この例の場合、制御端末A、制御端末Bの両方）で ESMPRO/AutomaticRunningController のセットアップカードを参照して必要なログを採取してください。また、その他に下記ログの採取もお願いいたします。

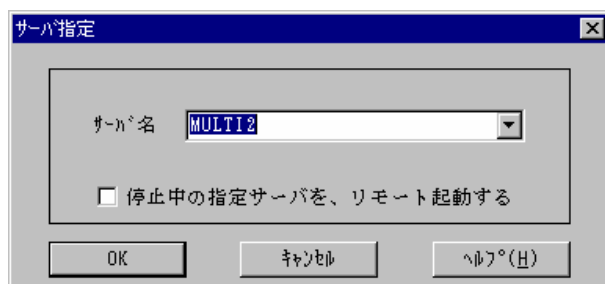
ESMPRO/AutomaticRunningController インストールフォルダ下の”Data” フォルダ下の
ac_e_net.ini, ac_e_net.apc, ac_e_net_d.apc

(2) 連動端末 (Windows サーバ)

制御端末および、管理 GUI のインストールされているコンピュータの ESMPRO/AutomaticRunningController GUI を使用し、下記手順で、連動端末A、B、Cそれぞれのログを採取してください。

例えば、制御端末Aから連動端末Aのログを採取する場合

- ①制御端末の ESMPRO/AutomaticRunningController メインメニューのサーバボタンを選択すると、以下のサーバ指定ダイアログが表示されます。



②サーボ指定ダイアログのサーボ名のところに、連動端末Aのサーボ名を入力し、OK ボタンを選択して、連動端末Aに接続します。

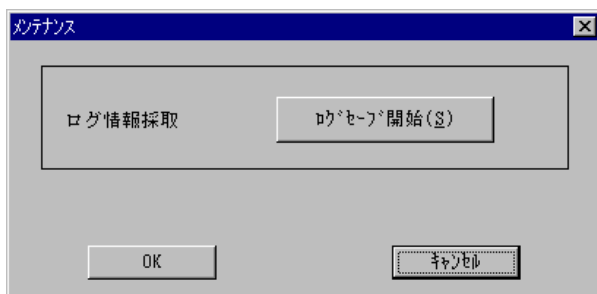
例えば、連動端末のサーボ名が、MULTI2 の場合、上記サーボ指定で
MULTI2
と入力します。接続しましたら下記のように表示されます。



③もう一度、サーボボタンを選択し、サーボ指定ダイアログを表示させます。



④サーボ指定ダイアログのサーボ名のところに、
ESM/PC MAINTA
と入力し、OK ボタンを選択すると、以下のメンテナンスダイアログが表示されます。



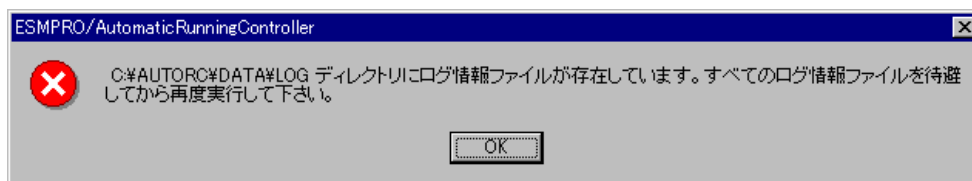
- ⑤ “ログセーブ開始” ボタンを選択してください。ログ採取が開始されます。ログ採取が終了すると、以下のダイアログが表示されます。

ログ採取正常終了メッセージ



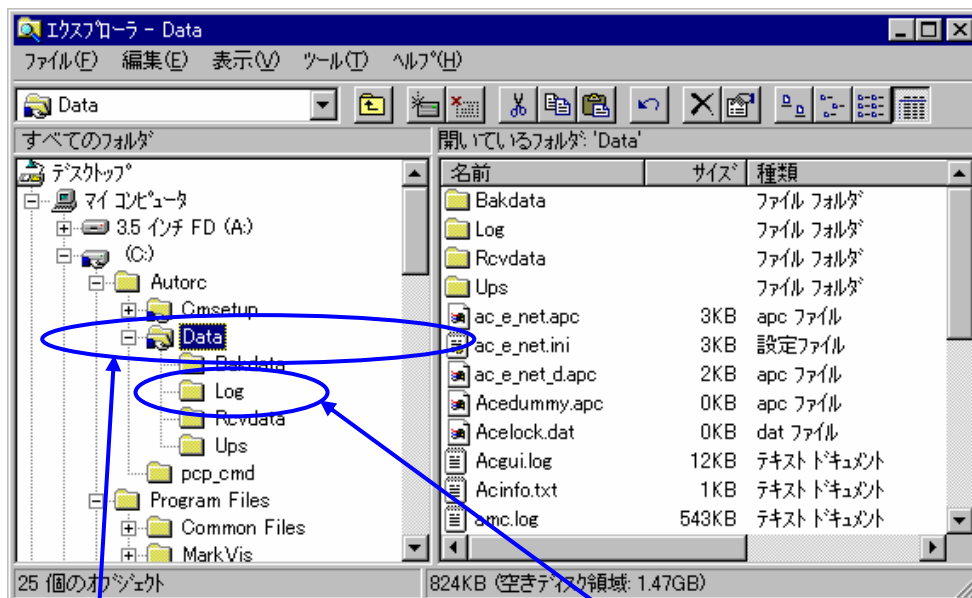
ログ採取正常終了のメッセージです。⑥の作業を実行してください。

ログ採取異常終了メッセージ



上記のエラーメッセージが表示された場合、既にログファイルが存在することが考えられます。ログ採取に失敗した連動端末の ESMPRO/AutomaticRunningController インストールディレクトリ下の DATA\LOG 下にログファイルが存在する場合は、ファイルを退避するか削除して、操作をやり直してください。

- ⑥制御端末のエクスプローラを実行して、ログ情報を採取してください。



ESMPRO/AC GUI で MULTI2 に接続している間は、MULTI2 の ARCDATA をネットワークドライブとして接続しています。

LOG フォルダ下に必要な情報が採取されますので、LOG フォルダごと FD に採取してください。

※LOG フォルダ下に採取されるファイルは、採取するタイミング／状態によって異なります。通常は1MB以内ですが、スケジュールの設定等によって異なります。

(スケジュールの有効期間が長い場合、登録するスケジュール項目が多い場合などは、ログファイルのサイズが大きくなります。)

Readme : サービスおよびGUI の動作不良のため、上記操作でのログ採取できない場合は、以下の方法で採取をお願いいたします。

①エクスプローラ等を使用してください。

②連動端末の ESMPro/AutomaticRunningController インストールディレクトリ\data ディレクトリ下のすべてのファイルを採取してください。

※ネットワークが不調な場合などは、連動端末のエクスプローラを使用して直接採取することもできます。

第6章 注意事項

6.1 セットアップ関連

ESS RL2002/12 版の ESMPRO/AC Advance Ver3.3 は、ESMPRO/AC Enterprise Ver3.1 との共存環境はサポートしていません（ESS RL2003/03 版以降にサポート予定）。

ESMPRO/AC Enterprise Ver3.3 をインストールしている環境に ESS RL2002/12 版の ESMPRO/AC Advance Ver3.3 をインストールしてしまった場合は、ESMPRO/AC Enterprise のアンインストールを行ったあと、ESMPRO/AC Advance Ver3.3 の上書きインストールを行ってください。

また、ESMPRO/AC Enterprise の環境にする場合は、ESMPRO/AC Advance Ver3.3 のアンインストール後、ESMPRO/AC Enterprise の上書きインストールを行ってください。

6.2 運用時における注意

ESMPRO/AC Advance をインストールした環境でスケジュール運転を行う場合、制御端末自身へは電源 ON 制御が必要となる停止期間を持つスケジュール設定（電源 OFF から ON までの間隔が 2 分以上空いている設定）は行わないでください。

これは、制御端末が自サーバの ON 制御を行うことができないためです。ただし、電源 ON 制御が必要でないリブートを行うスケジュール設定（電源 OFF から ON までの時間が 1 分間に設定）は可能です。制御端末のリブートに掛かる時間中は連動端末に対する電源制御が行えませんので、制御端末のリブート時刻と連動端末の ON/OFF 時刻が重複しないように設定してください。

その他の連動端末に対しては各サーバで独立したスケジュールで運用可能です。

<設定例>

制御端末

運動端末1

運動端末2

運動端末3

運動端末4

